
開講科目名：監査論特殊研究（4単位）
開設年次：1年 2年 3年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：友杉 芳正

《授業の概要》

《授業の目標》

企業経営における会計・業務・経営の各情報の信頼性を保証する監査は、外部監査と内部監査に分類される。監査の目的、機能、構造を明らかにし、監査の本質を理解する。法制度と結びつく外部監査では、金融商品取引法監査としての公認会計士監査、会社法監査としての会計監査人監査、監査役（会）設置会社の監査役（会）監査、委員会設置会社の監査委員会監査について、また有用な経営管理用具としての内部監査では、内部監査人監査全般について説明する。各々の監査の存在意義と社会的・組織的有用性について、理論と実践の両面から検討する。主に講義形式で行う予定である。

《授業の内容》

1コーポレート・ガバナンスと監査の関係 2監査人 3監査基準 4監査リスク 5目的基準 6一般基準 7実施基準 8報告基準 9監査報告書の雛形 10継続企業監査 11監査役（会）監査 12監査委員会監査 13内部監査人監査 14内部統制監査と四半期報告書レビュー 15国際監査基準など。

2. 評価方法

試験点60%、レポートなど提出点20%、その他平常点20%による総合評価

《テキスト》

開講時に指示する。

《参考書》

進度に応じて、適宜指示する。